

文化財を愛して止まない学芸員に聞いた

沼津の文化財の **イケてる** ところ

文化財の展示をしている市内施設には、沼津の文化財が大好きで、日々管理や調査に取り組むと共に、市内内外に向けて沼津の文化財の魅力を伝えるべく、情報発信をしている学芸員がいます。学芸員とひとくちにいても専門分野は異なり、それぞれの視点から見た沼津の文化財の魅力があるようです。

純日本百名城に認定!



ここがスゴイ!
沼津の文化財



「何と言っても遺跡の多さが魅力です」と力を込めるのは考古学専門の木村学芸員です。どの時代の遺跡もほぼ途切れなくあるのは珍しいことだそう。で、「交通の要所で人々の交流拠点となっていたからこそ」と話します。

大の文化財好きで全国の遺跡巡りもしている木村学芸員。特に推したい沼津の遺跡は、根古屋にある国指定史跡の『興国寺城跡』だといいます。「北条早雲の旗揚げの城として有名で、高さ10mにもなる土塁に登ると気持ちがいいです(笑)。天守台から望む駿河湾も絶景ですよ」とお勧めしてくれます。

全国から多くの人が訪れる興国寺城跡は、春は穂見神社の桜が綺麗に咲いたり、夏はカブトムシやクワガタを探ることもできますが、これからの季節は空気が澄み、城歩きをするには石垣や堀が綺麗に見えて最適です。

遺跡の数が多い沼津

これを使えば
マグロも一発!

ここがステキ
沼津の文化財

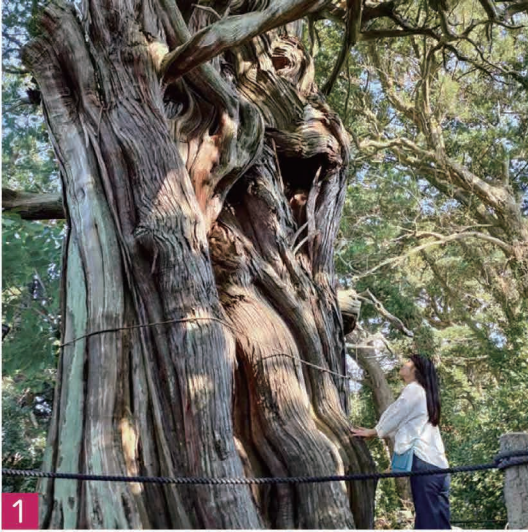


沼津ならではの道具たち

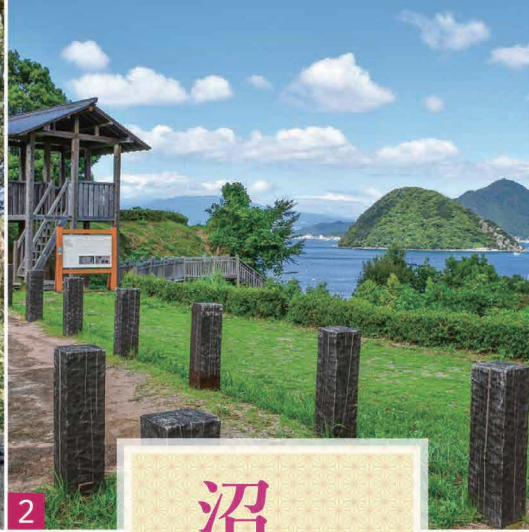
歴史民俗資料館の上野学芸員は有形民俗文化財が専門で、「これら漁撈用具は、国の重要有形民俗文化財に指定されています」と紹介してくれたのは、内浦・静浦やその周辺の漁業で使われていた道具のコレクションです。

学生時代から沼津の歴史を研究していたという上野学芸員は「沼津は特徴的な沿岸部はもちろん、山や川など変化に富んだ地形ゆえに生業や生活の道具の種類が多くて面白いです。浮島で使われていた田下駄は、ぬかるみに沈まないよう幅広になっています。こうした道具の複製を使った昔の人の生活体験は、「子供たちに大人気です」と話します。

歴史民俗資料館には、他にも木製の冷蔵庫やちゃぶ台、桶職人が作った風呂桶など昔の生活の道具が展示されており、どれも今の私たちの暮らしに繋がる貴重な文化財といえます。



1



2



3



4



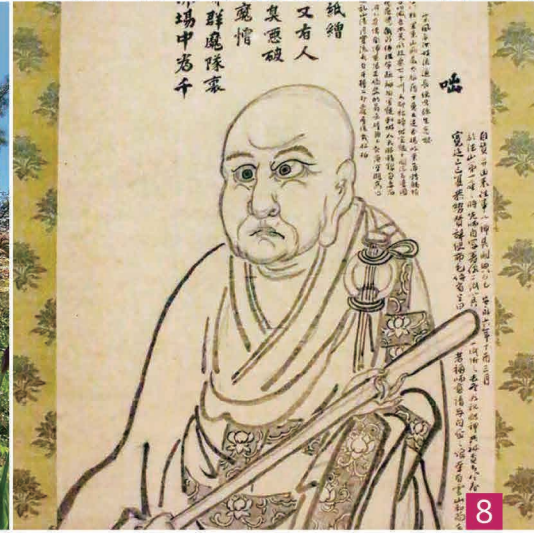
5



6



7



8

<右ページ写真の説明>

1. 大瀬崎のビャクシン樹林(西浦江梨)：国指定天然記念物。自然発生した百本を超えるビャクシンが圧巻。
2. 長浜城跡(内浦長浜ほか)：国指定史跡。北条氏の水軍基地として使われ、当時は三枚橋城が望めた。
3. 霊山寺の梵鐘(本郷町)：県指定有形文化財。貞治3年(1364年)と刻まれており、県内で4番目に古い青銅製の鐘。
4. 安田屋旅館の松棟と月棟(内浦三津)：国登録有形文化財。太宰治が滞在し小説を執筆したことで有名。
5. 旧沼津御用邸苑地(下香貫)：国指定名勝。皇太子時代の大正天皇のご静養先として造設され、園内を囲むクロマツ林や富士山の景観が素晴らしい。
6. 赤野観音堂(柳沢)：市指定有形文化財。市内で数少ない江戸前期の建築様式が用いられた木造茅葺きのお堂。
7. 帯笑園(原西町)：国登録記念物。江戸時代、東海道随一と言われた名園で、大名から庶民まで多くの人に愛された。園内で一際目を引く大王松は、大正天皇から苗木を下賜され育てたもの。
8. 白隠自画像(原東町)：県指定有形文化財。「原の白隠さん」として親しまれる白隠禅師の絵画。松蔭寺所蔵。

皆さんは「文化財」と聞いて何が思い浮かぶでしょうか。「文化財って何だか難しそうだし、面白みが分からない」と思う人もいるかもしれませんが、修学旅行や家族旅行で訪れた京都や奈良などで、多くの人が文化財に触れたことがあると思います。

歴史ある神社や仏閣、日常から離れた賑やかな雰囲気、はっと息をのんだりと、趣ある街並みや美しい自然景観に、思わずカメラをかまえた経験があるのではないのでしょうか。

市内には、市外からも注目を集め、文化財の管理や研究を行う学芸員から見て魅力的な、特色ある文化財が数多くあります。

今回の特集では、沼津の歴史の中で生まれ、育まれ、守り伝えられてきた文化財を市民の皆さんが身近に感じ、まちの新たな魅力発見のきっかけとしてもらうため、学芸員の話を通して紹介します。

普段あまり意識しないだけで実は私たちの身近にある「イケてる沼津の文化財」について知り、気になる場所を巡ってみてはいかがでしょうか。

◎文化財センター
☎055-935-5010
☎055-932-6266

◎歴史民俗資料館
☎055-932-6266